



深江中学校だより

令和4年9月1日

第7号

文責：校長 黒岩 洋史

【学校教育目標】 ～社会に貢献できる 人間性豊かで しなやかな 生徒の育成～
【スローガン】 時を守り 場を清め 礼を正す

42日間の夏休み終了…実りの2学期へ！

生徒にとっては長いようで短く感じられた42日間の夏休みも終わり、いよいよ今日から実りの2学期が始まりました。夏休み期間中は、コロナ禍の中、行動が制限されたこともありましたが、普段できない体験を通して、物事の見方や考え方が成長したのではないかと思います。

2学期は「勉強」と「挨拶」！

本日の始業式で、2学期は特に「勉強」と「挨拶」に力を入れて取り組んで欲しいと生徒へ伝えました。まず「勉強」について。今年4月に第2学年を対象として、国語・数学・英語の3教科で長崎県学力調査が実施されましたが、残念ながら3教科共に長崎県や南島原市の平均には及ばない結果となりました。学校では、調査結果の分析を行い、全学年で学力向上の取組として授業づくりや学習指導等の改善を行っていきます。生徒へは「なぜ勉強が必要なのか?」「なぜ中学校では10教科を学習しているのか?」等を話していますので、ご家庭でも話題にさせていただき、家庭学習の様子も見守っていただければと思います。次に「挨拶」について。ほとんどの生徒が、日頃からよく挨拶をします。しかし、生徒の中には、挨拶の声が小さかったり、挨拶をされても返せなかったり、地域での挨拶が不十分だったり、ワンストップ挨拶の取組が徹底されていなかったり…。今日の始業式で、「2学期から、気持ちのいい挨拶が溢れる中学校・地域にしていきたいと思います。」と生徒に伝えています。

「365日の紙飛行機」

右の四角囲みは、秋元 康氏が作詞した、アイドルグループ AKB48 の「365日の紙飛行機」の歌詞の一部です。「人生の応援ソング」と呼ばれる歌になるのでしょうか?個人的には、波線の部分が気に入っています。前に触れた県学力調査のように、人はどうしても、主に結果に目がいきがちです。もちろん結果も大事ですが、そこに至るまでの過程や子供たちの頑張りに、も

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ
風の中を力の限り ただ進むだけ
その距離を競うより
どう飛んだか どこを飛んだのか
それが一番 大切なんだ
さあ 心のままに 365日

っと目を向けてやるのが大切であると言われる。定期テストの結果や部活動の大会等、他と比較できるもの、数値として結果が見えるものに対しては、主にその結果で「良かった」「悪かった」と判断しがちです。結果が良くても悪くても、その過程や途中の頑張りを褒め、認め、次への目標や課題を与えたり、やる気を喚起させる言葉をかけたりして励まし、ステップアップさせていくことが大切だと思います。教師や保護者等、我々大人の役割は「子供たちが持っている能力を最大限に引き出してやること」です。結果だけでなく、その途中にも目を向けることを忘れず、学校・保護者・地域が互いに連携しながら、子供たちの成長のために関わっていききたいものです。

正に『人生は紙飛行機』

「その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番 大切なんだ」

2学期は多くの行事や活動があります。子供たちがどんな飛行を見せてくれるか楽しみです！